



さあ、いよいよ希望に満ちた新年の始まりだ

新しい年を迎え、今みなさんも希望や期待に満ちていると思います。この節目節目を意識することはとても大切なことだと思います。気持ちを切り替えて、成長し、自分を大きく変えていくチャンスです。そこで、始業式では、目標をもつことの大切さと、目標に向かって進んでいくときの心構えをお話しました。二学期までのがんばりに引き続き、この東中学校を、元気に爽やかなあいさつが飛び交う、みんなが励まし高め合える学校にしていきたいと思います。

この一年 私はこうがんばる ～始業式で語った代表の決意～

終業式で二学期のふり返りと次への決意を、三学期始業式では、新年を迎えての決意を各学年の代表の生徒が発表しました。学年それぞれがもつ課題をふまえ、力強く思いを語りました。

新年の抱負 榊原 藍斗 (1-2)

新学期が始まると同時に、僕たちの1年生としての1年間が終わりに近づきます。1,2学期を過ぎて、中学校生活にも慣れ、友達も増えて充実した学校生活を送ることができました。

ですが、1年生としての1年間が終わるということは、次の2年生としての1年間が始まるということでもあります。勉強は今までよりもどんどん難しくなっていきます。部活動や行事では、先輩に助けられていた立場から、先輩として後輩を助ける立場になります。

特に、部活動では助けがあげることが多くなると思います。僕はバスケットボール部で、最初は何をどうしたらよいのかわからなかったのですが、いつも先輩方に聞いて助けてもらいました。

体育大会で応援リーダーになった時は、先輩方に団を引っ張ってもらい、僕はついていく存在でした。たくさんのことを教えてもらい、学ぶことができました。

学習面においては、自分の進路に関して少しずつ意識を高めていき、常に目標を持って勉強し、努力していきたいです。

今年、1年生として学校に通う日は残り50日ほどしかありません。もうすぐ、僕たちが先輩になる番です。1日1日を充実したものにし、大きく成長したいと思います。そして、先輩として見本になるような人になり、後輩たちを堂々と引っ張っていき、そのような人になりたいです。

新年の抱負 杉浦 詩菜 (2-5)

私は、今回の職場体験で小学校に行くことになりました。私は、昔から教師になるのが夢だったので、職場体験では小学校に行きたいとずっと思っていました。実際に小学校に行けることになってすごく嬉しかったです。と同時に、職場体験を絶対無駄にしたくないと思いました。

私は、小学校で小学生との接し方や小学校の先生に必要なことなどを学びたいと思っています。そのために、「みそあじ」はもちろん、返事や態度から東中学校の代表でできているんだという意識をもって臨みたいです。そして、職場体験が終わった後に、採用してよかった、来年も東中生に来て欲しいと思ってもらえるように最善を尽くします。

また、職場体験先の方が求めている人材は、当たり前なのが当たり前でできて、進んで物事ができる人だと思います。なので、私は言われてからやるのではなく、言われる前にできるように心がけたいです。

そして、少しでも知識をつけて、将来にいかせるようにしたいです。気になったことは自分からどんどん質問して、後悔のないようにします。この職場体験を糧にしていけるような内容の濃い4日間にしたいです。

私は、真剣に仕事に取り組み、最後までやりぬきます。そして、自分の夢に一歩でも近づけるようにしたいです。

長いと思っていた3年間もそろそろ終わろうとしています。去年までは受験勉強をがんばっている先輩たちを見て、受験って忙しそうだなと思っていたら、あっという間に僕たちが受験生になっていました。

3年生になってから、いろいろな先生が「受験は4月のスタートから」と言われていました。僕はそういった意識がなかなかもてないまま、西三大会や体育大会、東中祭や駅伝大会と、いつの間にか全ての行事が終わってしまいました。

どの行事も全力で取り組み、一生懸命になることができました。

しかし、受験に向けてそのがんばりを発揮できるかどうかは、正直なところ、自信がありませんでした。これまでの行事をともにがんばってきた

皆は当たり前のように黙々と受験勉強を始めていました。冬休みが来て、僕は「勉強しなくちゃ」という焦りの気持ちから勉強をしていましたが、次第に「皆ががんばっているのだから、僕もがんばらなくては。」とプラスに考えることができるようになりました。冬休みは1日8時間の勉強を目標にし、こつこつとがんばりました。

冬休みの終わりにあった塾の模試でも確かな手ごたえを感じ、まだまだ自分はがんばれると思っています。

僕が勉強にがんばれたのは、がんばっていたみんなのおかげです。悔いが残らないように、残りの時間もみんなでがんばっていきましょう。そして、自信とほこりを持って東中学校を卒業していきましょう。

学校評価でのご意見についてお答えします No. 1～回答及び取り組み～

- 授業でわからないところを先生に聞けず、そのままになっています。週に1回でも放課後に質問のできる勉強会を行って欲しい。

⇒ テスト週間中には勉強会を行っていますが、平日頃の放課後は、なかなか時間がとれないのが現状です。授業の中で質問できる時間を確保するよう努めるとともに、放課後にも気軽に聞くことのできる人間関係づくりに努めます。

- 危険な運転走行を見かけるので、自転車の交通ルールを勉強させて欲しい。

⇒ 4月に自転車点検、5月に自転車交通安全集会を行い、交通ルールの学習を行っています。ただ、複数で乗る機会等、並列走行や右側走行などが見られ、なかなか徹底できていないのが現状です。今後、部活動や学級指導の中でも安全な走行ができるよう指導していくよう努めます。ご家庭でも自転車の安全な乗り方についてご指導ください。

- 体育大会の時、ロープで観覧席が限られた場所に区切られ狭かった。よく見えない競技があったので工夫して欲しい。

⇒ 昨年までと同じように生徒の席と保護者席を仕切ったのですが、タフロープからしっかりしたロープに変えたため、威圧感があったかもしれません。召集など生徒のスムーズな移動と進行のため、生徒の席への自由な出入りを遠慮願っています。親子での歓談については、昼食時や帰宅後にお願いできたらと思います。

本校卒業生 頑張っています!! ～日本一に輝いた2人～

昨年の東中だよりも紹介した本校卒業生(現高3)の森山泰希君が、今年も星稜高校のフォワードとして全国サッカー選手権に出場し、全国優勝を果たしました。準決勝までは、アシストやディフェンスでの活躍が中心でしたが、決勝では延長に入って2ゴールを決め、優勝を決定づける活躍をしました。

また、先日成人した但馬ミツロ君(現中央大2年)は、昨年10月に行われた長崎国体で、ボクシング成年男子ライトヘビー級に出場し、優勝しました。小さい頃から格闘技が好きで、ボクシング部のある享栄高校に進んで才能を開花させました。将来は東京オリンピックの有力候補選手と聞いています。